

令和5年度
学校だより No.7

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和5年10月18日(水)
校長 宮坂 哲生

先日は運動会にお越し頂き、温かな拍手や声援を送って頂き、また日頃の体調管理や校庭整備など様々な面で支えて頂き、本当にありがとうございました。おかげで、子ども達はのびのびと体を動かし、楽しむ、がんばる、喜びを分かち合うたくさんの素敵な姿を見せてくれました。

一粒を大切に



9月27日に、5年生の稲刈りがありました。機械で脱穀する際にこぼれ落ちた粃を、写真のように何人かの子が拾っていました。今は飽食の時代と言われますが、5年生の姿からは、自分達で育てたお米だから、わずかでも大切にしたいという思いが伝わってきました。5年生のお米づくりは、年間を通して保護者の皆様に変にお世話になる活動です。そのおかげで食を考える大切な学習ができていると感じました。

実りの秋



4年生は、糸萱かぼちゃ生産者組合の島立さん達に教わりながら、5月より育てた糸萱かぼちゃの収穫を行いました。子ども達は、収穫したかぼちゃを使ったスイーツ作りを1学期から計画し、地元の飲食店を訪れたり、保護者の皆様にお支え頂いて試作を行ったりしてきました。かぼちゃ栽培もスイーツ作りも、うまくいかないこと・考えなくてはいけないことが、様々子ども達に降りかかりますが、その都度仲間と協力・相談しながら乗り越えていました。それが、子ども達の大事な学びになっています。



1・3年生は、力を合わせてさつま芋掘りを行いました。3年生が事前に準備をしてくれました。大きなお芋がたくさん出てきて、歓喜の声が上がります。小さな手とそれよりちょっと大きい手が重なりながら、途中で折らないように、慎重に掘り進めます。温かなふれあいの姿が見られました。とれたお芋は、10月20日の北山祭で頂きます。

さくら・ひまわり学級の子ども達は、生活単元学習の一環で、自分達で栽培したほおずきの販売活動をしました。手書きのラベル付きです。頼張ると、やさしい甘さが口の中に広がります。子ども達のあたたかな気持ちが伝わってくるようでした。



爽やかな空気を吸い、雄大な山を眺めながらの畑の活動は、心が洗われるようです。改めて、北山地域のよさを感じます。

主体性と相手意識を学ぶ場に



朝、段ボール箱を持って登校する6年生。「何に使うの」と尋ねると、北山祭という答えが返ってきます。着々と自分達で計画を立て、準備を進めています。児童会の様子を見に行くと、6年生がプレゼンしながら説明を述べ、それに5年生が鋭い質問を投げかけます。委員長が迷うと、周りの6年生がすかさずフォローを入れます。自分達で作る、という思いが伝わってきます。来てくれる全校の姿を思い浮かべながら、どうしたら喜んでくれるか、困らない

か考え、準備を進めてくれています。

これからの時代を自分らしく生きるために、自ら考え行動する力、相手の気持ちを考える力が大事だと思います。北山祭に向けた取り組みが、その主体性と相手意識を育む大事な場になればと思います。我々職員は、各委員会で「お釈迦様の指」※1のお話のように、必要なときにさりげないフォローを入れることができるといいと思っています。

また、北山祭に向け、PTAのみなさんが御神輿づくりの準備を進めてくれています。登校する子ども達は、家で作った飾りのことを話してくれます。きっと、子ども達の工夫がたくさん詰まった御神輿になると思います。



※1 「お釈迦様の指」はこんな話です。あるとき、お釈迦様が天上から人間の世界を見ていました。男の荷車が、ぬかるみにはまって動かなくなっています。誰も助けに来てくれない。自分でやるしかない、その男が渾身の力を込めて荷車を引いたとき、お釈迦様が見えない指でポンと押して助けてあげます。男はお釈迦様の存在には全く気づいていません。最初から最後まですべて自分の力でやり遂げたのだと考えています。お釈迦様も「私が押した」とは言いません。

学習用端末の持ち帰りを進めます



1人1台端末が学校に導入され、様々な学習場面で活用が進み、筆箱やノートと同じような学習ツールとして定着してきています。低学年でも、お絵かきや写真撮影など、活用場面が広がっています。臆せず扱い、感覚的に操作を覚えていけるのが子ども達の強みです。

学習に使用するソフトもずいぶん進化しています。ドリル教材は、その子どもの学習の傾向から、その子どもに適した問題を選択してくれます。もちろん万能ではありません。教師の支えが必要です。ただし活用の幅を広げていくことで、一人ひとりの学力差や興味関心に、より細やかに対応していくことができます。可能な学年については、校内だけでなく家庭学習としても活用したいと考えています。子ども達とは、持ち帰る際の注意や家庭学習以外には活用しないことを確認します。保護者の皆様には、家での管理などお支え頂くことがありますが、機器を大切に扱うことなど、お声がけをよろしくお願いいたします。子ども達は、一人ひとり自分のパスワードとIDを持っています。お家で共有してもらい、もし操作面で困る様子があれば、できる範囲でサポートして頂けるとありがたいです。使用していく中で、ご不明な点などありましたら、各担任までご連絡ください。よろしくお願いいたします。